



A 夕景に映えるY邸。外壁にそとん壁を選んだのは、自然素材でメンテナンスフリーなことと、落ち着きある質感に惹かれて。南の窓のすぐ外にはモミジと、紅葉しても葉が落ちないヤマコウバシを植栽。家にいながら季節の移ろいを感じられる。 **B** 娘さん二人と食卓を囲む。テーブル上部の美しいペンダントライトは建築家・中村好文さんのもの。 **C** 庭の奥にある畑では、夏にミニトマトやオクラ、とうもろこしなどを収穫。



LAID BACK

No. **10**
Example Report.

Builder:
美し信州建設
Note:
上田市/Y邸
家族構成/4人

豊かな日々の営みを 味わい慈しむ家

庭につながる広がり、
コンパクトだからこそ
包まれ感と安心感

一歩足を踏み入れるとやわらかな暖かさにふわりと包まれます。足元はカラマツの無垢フローリング。住み始めて約1年半、少しずつ色味が深くなり、「だんだん育ってきました」と奥様は笑顔を見せます。

自然あふれる環境で子育てをしたいと考えていたYさん夫妻。自然素材の木の家で、提案力にも定評のある美し信州建設に「建築家・伊礼智さんのテイストを感じて」、土地探しから依頼しました。広大な敷地に完成したのは、豊かな自然環境を最大限に生かしたナチュラルな家。コンパクトながらもゆるやかにつながるリビング周りには、家族が思い思いに過ごせる「居場所」がつくられています。ダイニングエリアの天井は高さを抑え、守られているような安心感を演出。一方、明るい光が降り注ぐ吹き抜けのリビングは、大開口から広々とした庭が見渡せる開放的な空間となっています。

「どこもかしこも天井の高い大空間では落ち着きません。ダイニングは天井を低くして落ち着きを、リビングは和室や外とのつながりを意識して、広がり感を演出しました」と設計担当の高森さん。Yさんも、「家はコンパクトですが、包まれるような安心感だけでなく開放感もある。天井の高低差や窓の配置、照明など設計の工夫によって、こんなにも上質さや心地よさを感じられるなんて驚きです」。

広い庭では子どもたちと野菜や草木を育て、自然とのふれあいを楽しんでいきます。「春になったらもっと木を植えたい。30年後は森になっていくかな?」。家族とともに住まいものびやかに育っていくのでしょ。



薪ストーブは料理にも。 食の動線を大切に考えた あたたかな暮らし

薪ストーブは奥様のご実家で愛用していたことから、Y邸でも必ず導入したいと決めていました。暖気を家中に回すため1階には廊下を設けず、脱衣所までばかばか。吹き抜けを伝って暖気が2階へ上がるので寝室も暖かいそう。外張り断熱工法による高断熱空間の賜物です。「夜

12時頃まで焚いていると朝も20℃くらいあって、寒くて布団から出たくない、ということがなくなりまし

ともに食べるのが好きなYさんご夫妻。もちろん「食の動線」も熟考されています。パントリーには土間を設け、買い物帰りは、駐車場からパントリーを通して直接キッチンへ行くことができるように間取りを計画。人の移動に合わせて、買ったものをしまっていける効率のいい動線です。また料理の支度や片付けがしやすいようキッ

チンカウンターとテーブルは横並びにレイアウトされています。「ほの暗く落ち着いた空間でお酒を楽しむひととき、心からの安らぎを感じます。木の香りとやわらかさに包まれて、つい寝落ちしてしまうことも……。おかげで、今までの価値観をいい意味で変えられるような、心地いい毎日を過ごしています。希望の何倍もいい家になりました」とご主人も満足そう。

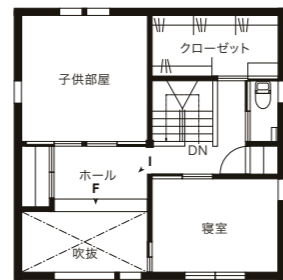
家族で囲むあたたかな食卓には、夫妻の慈しむ豊かで心地いい日常が垣間見えるようでした。



D_カラマツのフローリングがぬくもりを感じさせる、木の質感が心地いい家。美し信州建設に依頼したのは、「建築家・伊礼智さんのテイストを感じて。モデルハウスでも、自然素材の空間では子どもたちの機嫌がよかったです」。 E_南側の大きな窓から庭の木々が見える。4畳の和室は扉で仕切らず、リビングから一段上がって腰掛けられるつくりとした。 F_冬は薪ストーブ、夏は2階のエアコン1台だけで快適に過ごさせている。 G_吹き抜けで開放感たっぷり。薪ストーブは炎がよく見える、ガラス面の大きなものを選んだ。「薪ストーブの炎で焼いたハンバーグやピザのおいしさは感動的。信州の長い冬の楽しみが増えました」 H_テレビの上のFIX窓からは山が望め、山桜や紅葉を楽しめる。

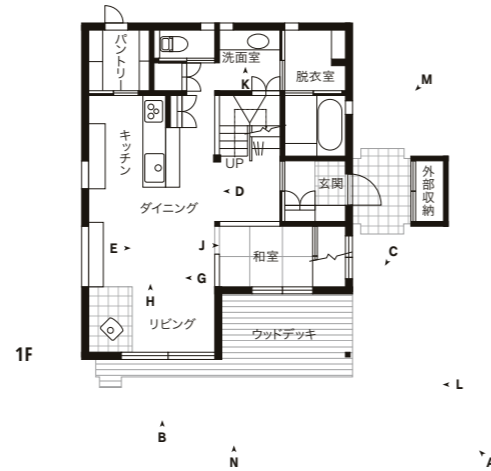


N 大きな薪棚はご主人の力作。今では薪づくりも薪運びも火をつけるのも率先して行い、家を建てたのを機にDIYの楽しさに目覚めたよう。



PLAN

2F



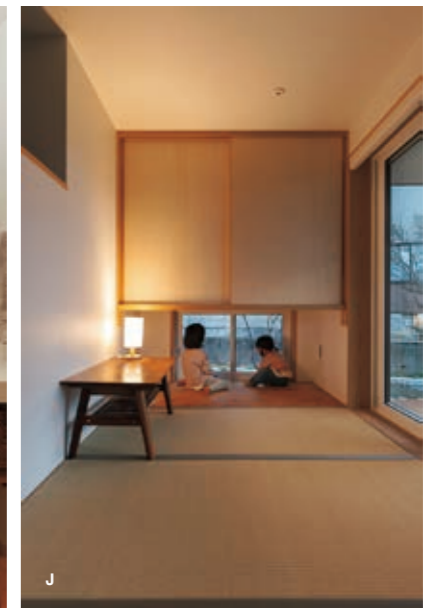
1F

DATA

敷地面積 637.82㎡ (192.56坪)
 延床面積 110.19㎡ (33.27坪)
 1F面積 63.82㎡ (19.27坪)
 2F面積 46.37㎡ (14.00坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:木曾ヒノキ、梁:真産スギ、土台:木曾ヒノキ 断熱材/天井:ネオマフォーム80mm、壁:ネオマフォーム50mm、基礎:立ち上がりミラフォーム100mm・土間上 ミラフォーム50mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:シラスそとん壁・カラマツ 主な内装仕上げ/天井:スギ板・シナベニヤ、壁:クロス、床:カラマツフローリング・クッションフロア 開口部/樹脂サッシ・Low-Eペアガラス(アルゴンガス入り) キッチン/タカラトレシア キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/タカラレラージュ 暖房の種類/薪ストーブ

I_2階ホールには間仕切りとして本棚を備えた。「寝る前に本を読んだりつろいだりする、ひとりになれる空間をつくりたくて。子どもが小さいのでなかなか難しいのですが」 J_和室の吊り押入れの下は、娘さんたちがこもれる遊び場。ここから見える植栽の緑も美しい。 K_脱衣所とは独立した洗面室。グレーのタイルがアクセントに。 L_和室から続くウッドデッキは、ご主人と奥様のお父様との共作。小さなテーブルを出しておやつを食べたり食事をしたり。洗濯物干しもここに。 M_アプローチと植栽もYさんが手がけた。板張り部分には外物置があり、これにとでも重宝している。「スコップや鍬などの道具やキャンプ用品、生協の箱などを収納できて、玄関周りがすっきりします」



Owner:
Yさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A 自然素材を使った家を立てること。森や山の中ではなくても、窓を全開にすれば外の自然を感じて過ごせること。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A キッチン北側のパントリー。土間をつくってもらい、駐車場から直接入れるように。キッチンへの動線がスムーズ!

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A たくさんの要望を素敵にまとめてくださり、希望の何倍もいい家になりました。今まで知らなかった価値観を教えてくださいました。



Builder:
設計担当/高森喜洋さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A 住まいの中で家族の存在を感じられ、家族みんなが集まり暮らしを楽しめること。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A いろいろな居場所があるLDK周辺。薪ストーブの存在感。外部とのつながり(畳コーナー・リビング)と収納計画。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A 安心感と休息感を得られる住まいづくりです。自然と体が休まり、家族が集まってくるような雰囲気と空間づくりを大切にしています。

